01　設備確認表

イベントホール内の大型移動間仕切り RUNNING-WALL を対象とする。設備識別は RS-1、RS-2 及び RS-3、製品種は RS-100D を基本情報とし、初回点検時に銘板等で照合する。

対象部品は、合成ハンガーレール、吊りアングル、ランナー、コントローラー、固定体、パワークローザー、各種ガスケット、化粧プレート、パネル固定ストッパー、受アングル、パネル及び付属ドアとする。

項目	確認内容
設置場所	イベントホール
設備識別	□RS-1　□RS-2　□RS-3　□その他（　　）
製品種	RS-100D　□銘板一致　□修正（　　）
メーカー	
パネル枚数・構成	RS-1：　枚　RS-2：　枚　RS-3：　枚
レール経路・収納部	□図面一致　□修正図添付
ドア付きパネル	□なし　□あり（位置・枚数：　　）
確認日・確認者	
操作キー・ハンドル管理状況	

02　標準点検表

判定 A：異常なし　B：処置済　C：交換済　D：交換必要　E：注視必要　F：未実施　G：該当なし

対象・部位	点検内容	方法	判定	測定値・処置・備考
レール・走行	パネル走行、見切り部、レール内ガイド、溝幅、ガイド緩み	操作・目視・測定・増締め	□A □B □C □D □E □F □G	
レールジョイント	開き、段差、ずれ	目視・測定	□A □B □C □D □E □F □G	
レール給脂	古いグリス除去、コーナー部・直線部の給脂	清掃・塗布	□A □B □C □D □E □F □G	
パネル外観・作動	表面・フレーム、召合せ、移動・収納時の擦れ	目視・操作	□A □B □C □D □E □F □G	
パネル隙間	床部・天井部のクリア寸法	測定	□A □B □C □D □E □F □G	
吊りボルト・金具	変形、傷、ロックナット締付	目視・増締め	□A □B □C □D □E □F □G	
化粧プレート	外観、歪み、台座・ビス	目視	□A □B □C □D □E □F □G	
シール装置	ギア回転、シールフレーム圧着・収納、コーナー部	操作・目視	□A □B □C □D □E □F □G	
ランナー	フタ、ビス、上部ガイド、走行ベアリング	目視・操作	□A □B □C □D □E □F □G	
ガスケット等	上下・サイド・召合せシール、コーナーゴム、遮光ゴム	目視	□A □B □C □D □E □F □G	
ドア	開閉、ヒンジ、ロック、引手、ガスケット	操作・目視	□A □B □C □D □E □F □G	

03　判定区分

判定	扱い
異常なし	安全かつ正常に使用可能
処置済	給油・増締め・調整等により復旧済
交換済	承認済み部品を交換し復旧済
交換必要	部品交換又は修理の見積提案が必要
注視必要	直ちに支障はないが次回まで経過確認が必要
未実施	理由と代替確認方法、再実施予定を記録
該当なし	当該設備に対象部位なし

04　設備別結果集計・不具合明細

設備	異常なし	処置済	交換済	交換必要	注視必要	未実施	総合使用可否
RS-1							□可 □条件付 □停止
RS-2							□可 □条件付 □停止
RS-3							□可 □条件付 □停止

05　不具合明細

No.	設備・位置	部位	不具合・測定値	判定	応急措置・提案	写真 No.
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						

06　費用区分表

作業	定額委託費	別途費用	条件
各年度 1 回の定期保守点検・作動確認	含む	−	全設備・全項目
通常の給油、古いグリスの除去、増締め、軽微な調整及び清掃	含む	−	点検に伴う通常作業
報告書、測定、位置図、写真	含む	−	点検後提出
通常資機材及び交通費	含む	−	通常点検に必要な範囲
ランナー、ガスケット、金具等の部品交換	−	対象	見積り・事前承認
パネル・レール・吊り材の修理や改造	−	対象	施工方法・安全条件を事前承認
定期点検外の緊急点検・派遣	−	対象	安全助言・受付を除く
前年度指摘事項の修理	点検時の再確認及び見積提案まで	修理は対象	前年度までの指摘事項の修理は本業務に含まない
点検調整不備による故障	受託者負担	−	発注者立会いで原因確認

07　安全・緊急対応チェック表

確認事項	実施内容	確認
作業区画	第三者立入防止、表示、監視者配置	□
パネル移動	走行経路・収納部確認、挟まれ・衝突防止	□
転倒・逸走防止	点検中のパネルを安定保持し、無人放置しない	□
高所点検	適切な足場又は作業床を使用	□
ドア・シール操作	手指挟まれと誤操作を防止	□
復旧確認	工具残置なし、全パネル収納・固定・作動確認	□
使用制限表示	危険箇所を明示し発注者へ引渡し	□

08　緊急対応手順

段階	緊急時の対応
受付	設備、位置、現象、人身影響、現在の固定状態を確認
安全確保	使用停止、立入制限、パネル固定等を助言
現地対応	現地派遣が必要な場合は到着見込みを発注者と調整
承認・修理	緊急点検、部品交換及び修理は、緊急避難的な安全措置を除き、見積りと作業内容を提示し、発注者の承認後に実施
報告	受付・到着・完了、原因、処置、残存課題を記録

09　定期点検総括報告書

項目	記入内容
実施日時	令和　年　月　日　　時　分〜　時　分
実施者	
対象設備	☐RS-1　☐RS-2　☐RS-3
作業種類	☐定期点検　☐給油・調整　☐修理　☐緊急対応
結果集計	異常なし：　処置済：　交換済：　交換必要：　注視必要：　未実施：　該当なし：
部品交換	☐なし　☐あり（　　）
総合判定	☐使用可　☐条件付使用可　☐一部停止　☐全面停止
未処置・連絡事項	
受託者責任者	
発注者立会確認	

10　写真・位置図

RS-1〜3 全景、収納部、レール分岐、代表パネル、ドア、指摘部位、処置前後を撮影。位置図と写真番号を対応させ、不足時は本票を複写する。

写真 No.1 設備・位置：	写真 No.2 設備・位置：
写真 No.3 設備・位置：	写真 No.4 設備・位置：

写真番号と設備・位置図の識別番号を対応させる。必要枚数に応じて複写する。

11　初回点検時の確認

本仕様書と本補足資料をセットで提示すれば、対象、最低点検項目、判定、通常作業、追加工事、緊急対応及び成果物を特定できる。

No.	確認事項	本業務での扱い	確認
1	RS-1、RS-2 及び RS-3、RS-100D の現況照合	設備確認表で照合。差異は修正記入	□
2	パネル枚数、レール経路、収納部	初回点検時に記録。重大な差異は発注者へ報告・協議する	□
3	前年度指摘事項	修理は本業務に含まず、点検時の再確認及び見積提案まで	□
4	過去報告書・測定値	なくても履行可能。入手時は経過比較に使用	□
5	部品交換・緊急対応	費用区分表と事前承認手順を適用	□

12　パネル別設備台帳

機器・部品・対象項目ごとに本票を複写して使用する。

項目	記入欄
設備識別 RS-1／RS-2／RS-3	
パネル識別番号	
概算重量 kg	
ドア付きパネル 有無・位置	
収納順序	
操作キー・ハンドル管理状況	
確認日・確認者	

13　追加作動確認記録

機器・部品・対象項目ごとに本票を複写して使用する。

項目	記入欄
設備・パネル識別番号・点検日	
全パネル作動確認	
収納順序	
連結・分離	
上下シール圧着	
パネル鉛直	
壁・床との干渉	
戸先隙間 測定値	
光漏れ	
判定・処置・写真番号	

14　使用停止 修理管理票

機器・部品・対象項目ごとに本票を複写して使用する。

項目	記入欄
不具合明細 No.・設備・パネル番号	
使用停止対象	
固定方法	
禁止操作	
解除条件	
修理期限	
見積提出日	
解除日・確認者	